

## 本田節さん

有限会社ひまわり亭代表取締役

本当の自立には、  
精神的な自立と  
経済的な自立が必要

—ひまわり亭はどんなお店ですか。

**本田** 日本三急流の一つ「球磨川」のほとりにある、120年前の古い民家を活用した郷土料理のお店です。レストランとしての営業だけではなく、食文化の伝承や食を通じた学びの場としても事業を展開しています。地域に役立てる活動がしたいと思い、仲間と共に立ち上げました。

—これまでの道のりを聞かせてください。**本田** 相良村の農家の長女に生まれ、

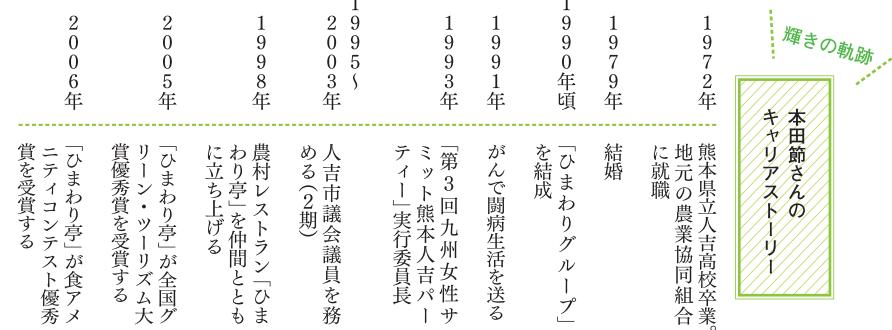
**PROFILE**  
1954年球磨郡相良村生まれ。地産池消と伝統料理の伝承を目指し、もったいない精神のもと農村レストラン「ひまわり亭」を経営。

地元の農協に就職。結婚し、夫の仕事の手伝いをして…と、過ごしてきました。子育ても仕事もやりがいがあったけれど、どこか悶々とした思いがありました。「妻として、母としてではなく、人間としての『本田節』をどこかで表現したい」。そう考え、地域づくりの仲間に加えてもらったことが、社会参加のきっかけとなりました。しかし、その後進行性のがんになり闘病生活を強いられました。

—人生を変えた出会いがあったとか。

**本田** 女性起業家として革新的な、球磨郡湯前町の下村婦人会・市房漬加工組合の元代表、故・山北幸さんとの出会いです。闘病生活の後、九州女性サミットに参加した時のことです。「素敵な年の重ね方」というテーマで、山北さんは年を重ねていく素晴らしいしさを教えてくださいました。

本当の自立のためには、精神的な自立と共に経済的な自立の必要がある



ことを知り、大きな刺激を受けました。もう一度元気になって、私らしく生きたい。そこから、生涯学習やボランティア、ひまわり亭とコミュニティービジネスを始めていくことになったのです。

—これから社会に出ていく女子学生にメッセージをお願いします。

**本田** ポジティブに行動すると、ポジティブな人が集まってきます。一歩踏み出ると、そこから人の輪が広がります。人と出会う楽しさと喜び

を知ると、もう人間が辞められなくなります(笑)。これから結婚などをして、一人でこもらず世の中と関わってほしいです。同じ心境の仲間に出会え、目の前が開けてきますよ。

実践のない学びは学びではない。とにかく実践し、失敗してもいいから挑戦することを忘れないで。

